

# 常なる磐

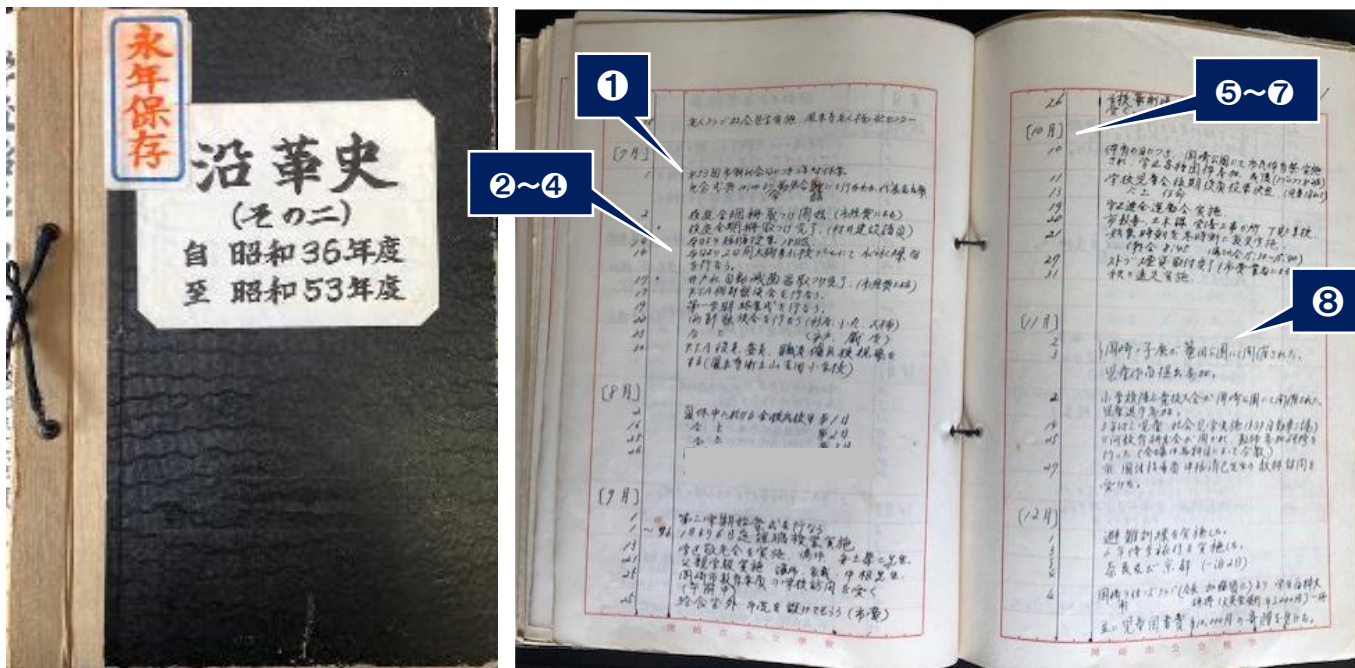
つねなる いわ season II

令和 4年 3月 4日(金)

その2

◇ 学校【沿革史】を 紐解いて⑩最終回 時代が変われば……

時代が変われば……【沿革史 第2集】におもしろい記録を見つけたので紹介する。



【昭和44年度 7月から12月上旬までの記録】より抜粋。

- ① 7/ 1 第53回市制記念日につき臨時休業
- ② 7/14 本日より短縮授業 18日まで
- ③ 7/14 本日より2日間大樹寺小学校プールにて水泳練習を行う
- ④ 7/17 井戸水自動滅菌機取り付け完了
- ⑤ 10/10 体育の日につき、岡崎公園にて市民体育祭実施 成績1ブロック第2位
- ⑥ 10/21 始業時刻を冬時刻に変更実施 朝会8:45 帰りの会15:30
- ⑦ 10/27 ストーブ煙突取付完了 (業者による)
- ⑧ 11/ 2 岡崎っ子展が籠田公園にて開催された。

## ①市制記念日につき臨時休業

市制記念日が休日でなくなったのは、平成への改元まもなくであったような記憶がある。これは「学校週5日制」とのかかわりが深い。第2土曜日の休日➡第2・4土曜日の休日を経て完全週5日制となるのだが、土曜日が休日になることの授業時間確保により、様々なことが見直された。7/1の市制記念日が休日(臨時休業)でなくなったのもこの一つである。因みに「家庭の日」はそれより前。昭和60年代後半だった。

## ②短縮授業

午前中授業だけの短縮授業。この廃止も「学校週5日制」によるところが大きい。自分が教師になった頃は給食がなく、午後から部活動がある生徒は弁当持参だった。

やがて「子どもの昼食の確保」に焦点が向けられ、短縮授業でも給食を食べてからの下校となっていく。このスタイルは、現在も継続されている学校が多い。

## ③大樹寺小学校プールにて水泳練習

常磐東小学校にプールがなかったための対応である。安戸町にあった旧学校（現:安戸町公民館）では、プールどころか体育館（屋内運動場）もなかった。

のちにこの水泳学習のスタイルは変更され、県営グラウンド（現:龍北グラウンド）隣接プール（県営プール）に変更される。移動は岡崎市のバスを利用し、4日間と実施日数も増加したことが記録に残っている。

## ④井戸水自動滅菌機

上下水道の整備がこの後に進んでいったことを示す。自然に恵まれた常磐の地の井戸水は、一際おいしかったことだろう。

## ⑤岡崎公園にて市民体育祭

ここ2年は中止となってしまったが、中央総合公園多目的グラウンドでの市民体育祭の実施は、すっかりなじみ深いものとなった。その前が岡崎市体育館グラウンドで、それよりも前の時代の話。

とは言っても、中学校の総合体育大会の総合開会式・入場行進・学校応援を経験している自分や教頭先生らにとっては、何となく開催の様子がイメージできる。

## ⑥冬時刻

「冬時間割」という別の呼び名もあった。日の出・日没時刻の関係で学校の始業時刻を少し遅らせるやり方。ただ単に時刻を後ろに送るだけでは日没に影響してしまうことから、授業時間を5分短縮するなどの措置を取っていた。

## ⑦ストーブ煙突取付

ダルマ式の石油ストーブを教室に設置していた時代の話。ストーブに触らないように金網で囲いが施されていた。自分はストーブで牛乳を温めたことはないが、教頭先生は金ダライを用意してやったことがあるとのこと。ダルマ式ストーブが設置型に変わり、ファンヒーター式へ、さらにエアコンに移行していく。

## ⑧岡崎っ子展 籠田公園にて開催

正式な呼び方は【造形おかざきっ子展】である。記録の誤りかもしれない。

作品の展示会場は、発足時の籠田（籠田）公園から菅生川原へ。さらに東公園、岡崎子ども美術博物館と数度の変更を経て、岡崎中央総合公園内にある美術館周辺に。

ここ2年はオンライン開催となってしまったが、令和4年度は現地展示開催に戻る計画とのこと。

---

最も驚いたのは、「昭和45年度の6月30日」の記録。

【万国博覧会全児童及び父兄見学】距離のある大阪に親子社会見学。スケールに驚嘆。